

[課題演習抄録]

批判的思考力を育成する中学校社会科の授業実践
—二項対立を用いて—

八 尋 洵 樹

Junki YAHIRO

福岡教育大学大学院教育学研究科教職実践専攻教育実践力開発コース

キーワード：批判的思考力，中学校社会科，質的研究

1 研究の目的

本研究は，中学校社会科において，これからの社会形成に資する批判的思考力の育成を目指す授業実践を目的とする。

2 研究の計画

M 1	・ 先行研究の調査・分析 ・ サポート実習での授業実践を分析
M 2	・ 先行研究の調査・分析 ・ T A実習 I ・ IIでの授業実践を分析

3 研究の内容

(1) 先行研究

鶴木 (1984) は，批判的思考について「社会科において育成されるべき思考力とは，批判的思考でなければならない。(中略)公的論争問題に対し，批判的に分析ができ，客観的で合理的な判断を下すことのできる市民を必要としている」と述べており，尾原 (1992) は，「他者や集団の言葉・行動・態度に疑問をもち，それを吟味・検討する批判的思考の育成が社会科の重要な目標の一つであるということに異論はない」と指摘している。両者の主張からも，社会科と批判的思考には，相互に親和性があるということが分かる。しかし，これらの主張は，約 30 年前からされているにも関わらず，現状としては，批判的思考の育成が社会科の中で十分に図られていないことも事実である。

楠見 (2011) は，「批判的思考力について①証拠に基づく論理的で偏りのない思考②自分の思考過程を意識的に吟味する省察的 (リフレクティブ) で熟慮的思考③よりよい思考を行うために目標や文脈に応じて実行される目標志向的な思考」の 3

つの観点から定義付けしている。

つまり，社会科の究極の目標である公民としての資質・能力の育成と批判的思考力の育成は，根拠を基にして考察することや自分や他者に対し，疑問をもち，再度吟味・検討すること等多くの類似点が見られる。そのため，社会科でこそ批判的思考力を育成する必要があると考える。

そこで本研究では，二項対立に着目した。吉川 (2018) は，『二項対立場面』を設定することは，単に意見を表出し，議論をするための一学習方法・形態という意味をはるかに超え，社会の諸事象をとらえる認識論，実社会との関係論を含み，まさに社会科教育の目的原理に関わってくることであり」と述べている。

このことから，二項対立場面を設定し，議論を行うことで，社会の諸事象について多面的・多角的に考察することができる。また，議論を通して根拠となる資料を提示することや，意見や根拠について審議しよりよい意見を再構築することができる。そのため，二項対立場面の設定は，批判的思考力の育成や公民としての資質・能力の育成を目指す上で非常に意義深い。

本研究における批判的思考力の定義は，上記を踏まえて「様々な視点から公正に判断するための反省的な思考」とする。

(2) 実践授業

単元名	歴史分野「貴族による政治の衰退と武士の台頭」
実践日	令和2年12月21日 (月) 5/5
学習者	A市 J中学校 1学年 32名
主眼	貴族の政治が衰退した理由について資料を基に様々な視点から自分自身の意見をもつことができる。
内容	貴族による政治が衰退した1番の理由を班で決め，全体で発表し，再度個人で検討する。

(3) 実践の考察 (批判的思考について)

20. E: で、もう一つが関東で、武蔵七党と呼ばれる武士団が出たことです。で、次が四国で藤原の何とかが中心となる武士団が大宰府、大宰府を襲ったことと、女真族を、鎮圧する…。(中略)
52. E: 意見がまとまってない。やっぱ…だとおもうんですよね、やっぱり。てか、おもったっちゃけどさ、武蔵七党って宮本武蔵なん?
53. G: あ、ちなみにさ、そいつが何やったん?
54. E: 宮本武蔵って江戸、江戸、江戸明治の人やなかった?
55. G: いや、全然。
56. F: その人がさ、あ、じゃあさ、貴族たちはさ、落ちんくない?なんかその、その人たちがやらな。
57. E: でも、最強やけん。武蔵。宮本武蔵最強よ。
58. G: え、え、藤原氏がそいつらが何か藤原氏になんか…。
59. F: で、藤原氏になんかせんと貴族は落ちんやん。その人たちがおっただけじゃ…。

52Eの発言は、軍事力をもった武士が台頭してきたことを、「武蔵七党」という武士団が形成されたという事実から、当時の武士団が強大な軍事力をもっていたことについて述べている。その発言に対し、53Gや56F、59Fの発言は、武士団の台頭が藤原氏の衰退にどのような影響があったのかという部分に着目し、生徒Eの発言を懐疑的に捉え、より深く考察しようとしていることが分かる。

168. G: この人に、娘が嫁いけど、子どもが生まれんやっただけ、後三条天皇。
169. F: いや、おれは、そのこと書いたんじゃないくて、直接家族にいない後三条天皇が即位した。
170. E: 結婚はしたものの、子どもがうまれんやっただけ。(中略)
198. F: やけんね、俺がいったのは、このごさ、後冷泉天皇が家族になれなかったってことが書きたいんじゃないくて、家族にいない後三条天皇が即位したって書きたい。
199. G: 藤原氏の家系の人が、藤原氏の家系の人、結局関白にもうなれなかった。遠い。遠かったんでしょ。後三条天皇と血が。遠かったからなれなかったんでしょ。

生徒Fと生徒Gは、「摂関政治に代わり、上皇が院政を始めたこと」という同じ立場での主張であるが、Fは、藤原氏との関係があまり強くない後三条天皇が即位したことを理由に挙げており、生徒Gは、後冷泉天皇に後継ぎが生まれなかったことを理由に挙げています。このように同じ立場で主張していても、異なる視点から考察しつつ、貴族による政治が衰退した理由について、互いに指摘し、さらに深く検討する姿が見られた。ただ、この班は、上記の理由のみの議論が続き、武士の台

頭やその他の理由について検討はなされなかった。

280. F: 全部? (中略)
287. E: やっぱ、3しかないよ。
288. F: いや、やっぱ4しかない。(中略)
304. E: 改めて考えてみると実は2番だったんじゃないかって。
305. F: そう思う。
306. E: 全部やったから。

上記の分節は、班での議論や全体での意見を踏まえ、再度貴族による政治が衰退した理由について考察する場面である。280Fは、貴族政治が衰退した理由について、班全体に疑問を呈している。その後の287Eや288Fの発言は、自分の意見を再度振り返った結果、3や4を選んでいる。また、304Eの「改めて考えてみると」という発言は、これまでの自己の考えに捉われず、意見を再構築しようとする生徒の様子が見受けられた。

4 成果と課題

- これまでの実践を踏まえ、社会科で育成する批判的思考力には、①根拠を基に、多面的・多角的に諸事象をとらえようとする事②自他の意見に対し、懐疑的に捉え、省察しようとする事③否定的に捉えるのではなく、建設的に意見を構築しようとする事の3点の特徴があることが明らかになった。
- 授業構想時に、二項対立を目的化するケースがあった。二項対立場面の設定に固執するのではなく、改善案を考案する等、別のアプローチから批判的思考力を育成することも必要である。
- 批判的思考力の具体が学習者の発言から示されたことは一定の成果であるが、その場限りの学習に留まった。中学3年間でどのように批判的思考力を育成すべきか再度構想する必要がある。

主な引用・参考文献

- 鶴木 毅 1984 「社会科における批判的思考の育成原理」日本社会科教育研究会『社会科研究』第32号27頁～36頁
- 尾原 康光 1992 「社会科における批判的思考の原理と方法 - 『議論』に基づくO'Reillyの批判的思考育成原理 -」
- 楠見 孝 2011
<https://psych.or.jp/wp-content/uploads/old/61-5-8.pdf> 最終閲覧日 12月28日
- 吉川 幸男 2018 「社会科学学習過程における「二項対立場面設定」の思考深化機能」山口大学教育学部研究論叢 第67巻 127頁～136頁